



市保連 だより

2022
(6月)

[第514号]

令和4年6月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

調査広報委員会

委員長 松下 英信

委員 今村 弘之 笠田 たつ子

蓮澤 哲 吉村 美穂

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2階
TEL(096)322-0096

立田山野外保育センター開設 20 周年記念 「雑草の森まつり」を開催



立田山野外保育センターは、2002年4月熊本市の協力を得て開設され、本年開設20周年を迎えました。これを記念して5月1日に「雑草の森まつり」が盛大に開催されました。

開会式は、つぼみ保育園の園児のかわいい開会宣言で幕をあげ、上野誠之大会会長の挨拶の後、大西熊本市長の代理で津田健康福祉局長、熊本市議会を代表して原口議長からご祝辞を賜りました。式には、紫垣保育議員団幹事のほか、審議会委員や基本計画策定委員会、歴代センター長にもご参加いただきました。



開会式のあと、ステージでは、福ちゃんの腹話術、工作教室、縁 joy スマイルのバルーンアート、グレッチの自転車紙芝居が行われ、子どもたちは大はしゃぎでした。

屋外でも、ツリークライミング、おもしろカー、工作教室などを楽しみ、屋内では、ゲームコーナーや20周年の歩み展、園長先生の似顔絵展で賑わいました。また、連盟会員とその家族を対象としたスタンプラリーには約100名が参加し、春の立田山探索とクイズを楽しみました。森のきのこカレー、焼きそば、パン焼き体験、綿菓子、かき氷などの食バザーもあり、コロナ禍ではありましたが、約900名の来場者に楽しんでいただいた一日でした。



立田山野外保育センターはこれまでに約27万人の利用があり、主に熊本市界隈の保育園・こども園・幼稚園の園児たちが、日帰りキャンプ、お泊りキャンプなどに利用し、子どもたちの笑顔と笑い声が絶えることのない施設となっております。これからも立田山野外保育センター(雑草の森)は、施設の老朽化等の課題もありますが、子どもたちが安心・安全の活動拠点となるように守っていきます。



『最高に楽しい活動、を求めて』 きよめこども園



当園は自立をサポートするモンテッソーリ教育と立腰により集中力、忍耐力を養う石井方式国語教育の二本柱で、子ども一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、自立心を育む教育を行っています。

部屋の中には、洗濯・食器洗い・クッキングなど日常的なものから、感覚・言語・数・文化の教具がコーナーごとに設置されています。子どもは毎日自分で教材を選んで時間の許す限り、集中して取り組むことができます。

『あ～おわった』『わあできた』の体験を通して、達成感や満足感を得、自尊感情が育っていきます。また、花祭り・ハロウィンなど季節の行事も大切にしています。自分たちで作ったり描いたり表現したり



することで日本や外国の文化に触れ、周りの世界に関心を持つようになるためです。屋外では4年前に第二園庭を増設したことで外遊びが活発になり、体力だけでなく協調性や社会性も身につけてきました。子どもたちが『今日は最高に楽しかった』と思ってもらえるような活動をこれからも展開していきたいと思っています。

地域の中で引き継がれるサッカー 海路口保育園



平成13年から地域の老健施設職員で、サッカー経験者の方による、サッカーボランティアが始まり20年が経ちました。月2回1時間程度、サッカーの基本から対外試合の監督までボランティアでいただいています。

開始当時は地元の小学校で部活動は4年生からとなっており1年～3年生が保育園でやってきた事が継続できなくなるため、保護者会と保育園で平成14年に奥古閑サッカースクールを立ち上げ、サッカーを楽しめる環境を整えることができました。

今現在まで継続出来ている事、日常生活の一部となってボールを



蹴っている子ども達の姿を見てこれこそ、海路口保育園のこだわりだと確信しました。これからも、ずっとサッカーを通して地域の中で子ども達が成長していく姿を見守っていきたいと思っています。



鯛の姿焼き 報徳保育園



食育活動の1つとして、毎年2月に「鯛の姿焼き」を給食のメニューで提供しています。鯛を丸ごと塩焼きにして子ども達の目の前で身をほぐし食すのですが、焼く前の姿を観察していた子ども達は、焼かれた鯛を見て「色が変わった」というちょっとした違いに気づいただけで大騒ぎ。身をほぐす間も骨の観察をしています。

縁起物とされている「鯛の鯛」をはじめ「鯛の9つ道具」と呼ばれている骨を探すのも楽しみの1つです。(この活動を始めるまでこの骨のことは職員も知りませんでした。)



そして、楽しんだ後「鯛は生きていたこと、命をいただくこと」に気づき、特にその日は「残さず食べよう」の気持ちが高まります。食材への興味や感謝の気持ちも育ち、食への意識が変わるのが分かり、我が園のこだわりの活動となっています。



園のこだわりの活動 小山保育園



本園では月に1回、発達支援に関する園内研修“スキルアップ研修”を行っています。始めたきっかけは、集団生活に苦手さのある子、発達にデコボコのある子とのめぐりあいでした。そんな子どもたちと出会った十数年前、発達障がいに関する職員の知識はまだ乏しく、適切な対応を模索し悩む毎日…。担任はもちろんのこと、おそらく当時の子どもも、互いにしんどい思いをしていました。

そこから主任保育士を筆頭に勉強を始め、3名の発達支援コーディネーターが誕生。現在は2名のコーディネーターを中心に、職員全員の専門性の向上を目指して取り組んでいます。“支援の必要な子”への共通理解を深めることをねらいとして始めたこのスキルアップ研修。毎回試行錯誤の連続ですが、続けていく中で、園の全ての子どもたちの気持ちや行動の理解にも役立てるようになりました。



それが“一人ひとりの心に寄り添い、大切にする保育”にも繋がっています。この3月で丸9年、様々な困難や壁にぶつかりながらも、途切れることなく続けてきました。そして4月から、10年目のスタート。成果がどれだけ出ているかは分かりません。ですが例え細くても、長く長く、これからも続けていきたいと思っています。



令和4年版 保育園・認定こども園等のしおり アンダンテ 表紙作品



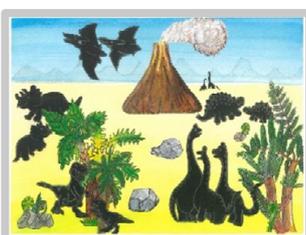
アンダンテ表紙募集に沢山のご応募をいただき
ありがとうございました。

表紙が幼保連携型認定こども園 やまなみの作品に
決定しました。

他にも多数のご応募をいただきありがとうございました。



青いほしこども園



五丁こども園



えのみこども園



大光保育園



6月の予定



理事会	6月 7日(火)	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室
園長会	6月 16日(木)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室
キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策Ⅰ)	6月 19日(日)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1
キャリアアップ研修 (食育・アレルギー対応Ⅰ)	6月 25日(土)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1
キャリアアップ研修 (保護者支援・子育て支援Ⅰ)	6月 26日(日)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1